

ポニーと歩こう！

# 中仙道宿場町の旅

日本橋～松井田編



写真はイメージです

～旅のテーマは「温故知新」～

…昔のことを良く知り、そこから新しい知識や道理を得ること…

## ■目的

人と馬のかかわりの歴史は古く、紀元前まで遡ることができます。この間、人は馬から肉や毛皮を取るだけでなく、荷役や農耕、交通手段や戦争にまで利用し共生してきましたが、近代化が進んだ日本の社会では、存在しなければ現在の社会は成りえなかったにも拘らず、馬の功績は忘れられ、一部の人たちの楽しみのための生き物となり、存在意義まで危ぶまれています。日本には戦前は約100万頭の馬がいましたが、現在は約8万3千頭にまで減ってしまいました。このように先進国で馬の飼養頭数が減り続けているのは日本だけです。先進国の多くはむしろ増え続けているのです。この飼養頭数の差が、正にゆとりの差、しいては昨今の社会問題を現しているように感じられます。

そこで、馬が生活の中で欠かせない存在だった頃と同じように、子ども達とポニーと一緒に歩く旅を計画しました。真のパートナーである生き物、ポニーとのこの体験を通じて昔の生活を知り、それを活かしより良いポニーとの関係を築き、さらに彼らの存在意義、本当の豊かさとは何かを感じ、考えることが目的です。また、万が一の災害時を想定した徒歩での移動訓練としても、有意義な体験だと考えます。

## ■主催

特定非営利活動法人NPOゆきわりそう ハローヒポ  
〒379-0226 群馬県安中市松井田町行田 52  
TEL 027-380-7088 FAX 027-380-7089

ハローヒポとは……

大人も子どもも、障害のあるなしにかかわらず、誰でも馬に親しみ友達になり、安全に乗馬を楽しめる施設として、2001年に東京都豊島区に拠点を置くNPO ゆきわりそうの付属施設として設立されました。ハローヒポでは、馬と人のかかわりを大切に、乗るだけでなく、馬に関わることをすべてを乗馬と捉え活動しています。また、人と馬のウェルフェアのあり方を考え、人間のみではなく関わるもの全ての「生」が豊かになることを願い、QOLの向上となる楽しみながらできる活動、関係作りに取り組んでいます。

そしてこのことを踏まえて、馬をパートナーとした教育的、療法的なプログラムの提供、海外から講師をお招きしての、講習会やクリニック、競技会を開催し、より効果的で進歩的な、障害者乗馬の普及と、人育成に材も取り組んでいます。

## ■実施概要

事業名:ポニーと歩こう! 中仙道宿場町の旅

期間:2011年3月26日(土)~31日(木)の6日間

参加者:ハローヒポ ポニークラブメンバーの希望者5名

(内訳 男2名、女3名・小学生2名、中学生2名、高校生1名)

引率:ハローヒポスタッフ 1名

大学生ボランティア 2名

待機車:ホーストレーラー及び牽引車(定員7名)

馬匹:シェットランドポニー 2頭 予備馬 シェットランド系ポニー2頭

後援:東京都馬術連盟、埼玉県馬術連盟、群馬県馬術連盟、全国乗馬倶楽部振興協会  
治療的乗馬協会、群馬県獣医師会、ぐんま教育文化フォーラム

\*以上の団体にご講演を依頼中、又は依頼予定です。

協力:ゴトウポニークラブ、(有)ホースシュー・ヤマモト、学習院大学馬術部

## ■人員

総責任者	姥山 寛代(NPO ゆきわりそう 理事長)
プログラムアドバイザー	後藤 浩二郎 (バルセロナ オリンピック総合馬術競技日本代表、ハローヒポ顧問)
実行責任者	黒田 朋子(NPO ゆきわりそう ハローヒポ 乗馬インストラクター)
統括、調整	東 哲朗(社会福祉法人地球郷勤務、NPO ゆきわりそう理事)
外渉、広報	桜井 得受(NTTDOCOMO 勤務、NPO ゆきわりそう理事)
医事	安田 寛治郎内科医師(河野診療所院長) 山元 由美子 (東京女子医大看護大学教授)
馬事	山本 隆幸 装蹄師(日本装蹄師会理事) 小林 勝幸 獣医師(群馬県競走馬診療所)

## ■行程

この旅を自らのものにし、責任感を養うために、旅の本番実施だけではなく、参加者には企画段階から参加していただき、準備・ルート決定など、関連する全ての行程を自分達で考え自分達で決めていきます。また、本番前には警察など関係各所への相談、必要に応じて届け出をし、スタッフがルートを試歩し無理のない行程か、安全の確認などを行います。

### ○計画会議

10月17日(日)「顔合わせ、参加に当たっての注意事項などの確認」	実施済み
11月7日(日)「中仙道を調べよう」「区間を決める」	実施済み
12月5日(日)「地図の作成」「ルートを決める」	実施済み
12月19日(日)「旅の詳細を決める」	実施済み
1月30日(日)「馬の曳きかた、路上での注意点(道交法など)」	2月27日に変更
2月末 「馬の健康管理」(獣医師による指導)	2月5日に実施済み
3月20日(月)「最終事前準備」	

### ○旅程

1日目:日本橋～蕨 約 19 km 日本橋発 8:00～
2日目:蕨～桶川 約 21,8 km 蕨発 8:00～
3日目:桶川～熊谷 約 23,5 km 桶川発 8:00～
4日目:熊谷～本庄 約 22,5 km 熊谷発 8:00～
5日目:本庄～高崎 約 24,2 km 本庄発 8:00～
6日目:高崎～松井田 約 21 km 高崎発 8:00～